

## 平成28年度事業報告

本県のグリーン・ツーリズムを推進するために、独自事業、県補助事業及び委託事業を活用して、実践者、推進組織、交流施設、関係機関及び関係団体等と連携して、本県グリーン・ツーリズムの普及・啓発、情報発信等を実施した。

特に、前年度に開催した第14回全国グリーン・ツーリズムネットワーク山形大会を契機として、本県グリーン・ツーリズムの諸課題が明確になったことから、こうした様々な課題の解決に向けた取組みとして、平成28年度から「やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会」を実施することとし、初年度はPart I～IIIを開催した。

### 《 独 自 事 業 》

#### 1 情報発信事業

- (1) HP「やまがた的グリーン・ツーリズム」の充実を図るとともに、ツイッター、フェイスブック等を活用して、会員の紹介や活動状況、各種イベント等の情報発信を行った。
- (2) フリー・マガジンによる情報発信
  - ① 協議会や会員の活動を広く紹介するため、フリー・マガジン「GOZZO 山形」の協賛サポーターとなり、毎号200部を買い上げて「駅西 旬の朝市」や「勾当台 交流市」等のイベントで配布した。
  - ② 「GOZZO 山形」にスタンプラリーについての広告を掲載するとともに、読者プレゼントとして、会員の商品（約3千円相当）を各号に提供した。なお、3千円相当のプレゼント商品代金及び送料の3分の2を本協議会が負担した。

#### 読者プレゼントの概要

発行号	会 員 名	商 品 名	応募数
vol.19 (3月号)	ウッディファーム& ワイナリー	ろんろんロゼワイン	49通
	手打蕎麦 おんどり	生そば合い盛り ペア食事券	45通
vol.20 (6月号)	さとみの漬物講座 企業組合	新関さとみの「漬物をつけよう」セット	22通
	ととや三代目	朝市ジャンボ昆布巻き5本セット	43通

<vol.21(2月号)の読者プレゼントは H29 年度事業で対応>

#### (3) 関係団体との連携

日本GTネットワークセンター、県観光物産協会、おいしい山形推進機構及び県教育旅行誘致協議会等の構成員となって連携を図りながら、本県グリーン・ツーリズムの情報発信を行った。

## 2 受入態勢整備事業

### (1) 受入態勢整備助成金の交付（対象経費の 2/3 以内を補助）

- ① きたむらやま産直組織ネットワーク
  - ・ 北村山地域内の産直組織が連携して「ジョイフル産直」を実施し、スタンプラリーや「いっせい直売会」の開催により、地域産の農産物・加工品を PR するとともに、産直組織間での活発な情報交換を行い、ネットワークの強化を図った。
- ② もがみ農村体験ネットワーク
  - ・ 最上地域内の体験活動実践者のレベルアップとネットワーク強化のため、他の実践者が実施する体験活動について、直接現地での研修会を開催した。
- ③ もがみ産直の里づくり推進協議会
  - ・ 最上地域の産直施設などが一堂に会して「もがみ“ゆめりあ”産直フェア」を開催し、地元で生産された安心・安全・新鮮な食品を提供し、消費者に地元の農産物や加工品等を広く PR した。
- ④ 高畠町グリーン・ツーリズムネットワーク
  - ・ 高畠町内の産直所が連携して「高畠産直スタンプラリー」を開催し、ガイドマップの作成や各産直所での独自イベントの開催などにより、町内の農産物等を町内外に PR した。
- ⑤ めぎみの里グリーンツーリズム推進協議会
  - ・ 地元食材を活用した新メニューを開発し、「いいで秋の収穫祭」での販売を通して、地元食材と協議会活動を PR した。
  - ・ 第 15 回 GT ネットワーク愛媛大会に参加し、山形大会で得たネットワークの深化を図った。
- ⑥ 酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会
  - ・ 情報交換会の開催による情報の共有化とともに、HP やガイドマップの充実により、酒田市のグリーン・ツーリズムを PR し、市内外からの参加者増加を図った。
- ⑦ 庄内町グリーン・ツーリズム推進協議会
  - ・ 山形大学農学部と連携して地域課題をテーマに演習や成果発表を行うとともに、教育旅行受入の先進地の実践者との意見交換・研修会の開催により、実践者間ネットワークの構築を行った。
  - ・ 第 15 回 GT ネットワーク愛媛大会に参加し、他地域とのネットワーク構築とともに今後の人材育成事業の糧とした。

### (2) やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会の開催

実践者の高齢化や後継者の確保対策、地域ネットワークの充実と他地域のネットワークとの連携強化、教育旅行等の受入態勢整備、さらには、「命のツーリズム」への対応等、全国大会の開催等を契機に様々な課題が明らかになった。

これらの課題解決に向けた取組みをテーマとする「やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会」を継続的に実施することとし、平成 28 年度は、Part I から Part III までを開催した。

#### ① Part I : 「命のツーリズムプロジェクト in 山形庄内」 9 月 24 日(土)13:30～

前年の全国(山形)大会を契機に、「命のツーリズム」プロジェクトが始動したが、全国展開を目指して熊本県や岐阜県で立上げ講演会が開催され、その第 3 回目として庄内地域で開催した。

- ・オープニング・メッセージ 青木 辰司 氏
- ・講演 「大切な人をがんから守るために今できること」 南雲 吉則 氏
- ・対談 「がんから救う‘命のツーリズム’その普及に向けて」  
青木 辰司 氏 × 南雲 吉則 氏  
司会：片寄 斗史子 氏

・「命の食事」実践講座・試食交流会 南雲 吉則 氏

②PartⅡ：「6次産業化の実践事例研修会」 11月9日(水) 13:00～

詳細は《補助事業》の項目を参照

③PartⅢ：「リスクマネジメント研修会 vol.2」 11月29日(火) 10:30～

詳細は《委託事業》の項目を参照

### 3 普及啓発事業

#### (1) 地域活動推進事業助成金の交付

##### ① 置賜グリーン・ツーリズムネットワーク（置賜地区）

置賜地域におけるグリーン・ツーリズム活動を推進するため、実践者、推進組織、観光振興団体及び交流施設の相互交流によるネットワークの形成・強化を促進するとともに、先進的な取組み事例を視察研修することにより、地域におけるグリーン・ツーリズム素材の更なる有効活用と活動の推進を図った。

##### ② グリーン・ツーリズム推進協議会（村山地区）

村山地域での農観連携企画である「週末は山形で農園ランチ」の活動の周知を図るため、のぼり旗の作成や仙台圏向けの体験企画の実施を支援し、地域グリーン・ツーリズムの普及啓発を行った。

##### ③ グリーン・ツーリズム推進協議会（最上地区）

最上地域の産直・加工所が連携して、地元で生産された特徴ある農産物等を提供し、消費者に地域の農産物や加工品等のPRを行った。

#### (2) 普及啓発・情報収集活動費

##### ① 日本一さくらんぼ祭りへの参加

平成28年6月18日(土)、山形市七日町大通りや文翔館前広場などで開催された「第5回日本一さくらんぼ祭り」において、他の産直会員とともに出店し、本県グリーン・ツーリズムのPRを行った。

なお、山形県農林水産祭（10月22～23日）「秋の食彩まつり」については、第15回全国GTネットワーク愛媛大会と日程が重なり、本年度は参加を見合わせた。

##### ② 第15回全国GTネットワーク愛媛大会への参加

前年度の山形大会への多数の参加に対する返礼、及び、命のツーリズムプロジェクトに関する情報収集等のため、第15回全国GTネットワーク愛媛大会に役員・事務局（計5名）が参加した。

##### ③ 台湾トップセールスへの参加

台湾からの教育旅行を含む観光誘客の促進、農林産物を含む県産品の輸出拡大等を図るため、知事をトップに更なる交流の拡大を目指して実施され、本協議会会長が参加した。

・期 日 平成28年5月17日～21日（この内の一部日程に会長が参加）

・場 所 高雄市内、台北市内及び宜蘭県内

・参加者 知事、観光関係者、農業関係者、酒造会社等 総勢35人

#### 4 「駅西 旬の朝市」の開催

「駅西 旬の朝市」運営会による自主運営を基本としながら、出店する運営会員の都合に配慮して、10時終了組と12時終了組の店舗を並列にしての開催とした。

- ・開催期日：4月から11月の第2、4土曜日（開催回数15回）

- ・開催時間：午前8時～12時終了組と10時終了組

なお、開催場所である山形駅西口広場が、H29年度以降、当分の間使用できなくなるため、その間「駅西 旬の朝市」は、“休止”することとなった。

また、山形駅西口での朝市の外、仙台市勾当台公園での交流市（大崎、栗原及び石巻との合同開催）に参加するなど、活動の場の拡大に取り組んだ。

#### 5 総会及び役員会等の開催

##### (1) 総会及び講演会 ⇒ 平成28年6月1日(水)

###### ① 議案

- ・平成27年度事業報告・収支決算
- ・平成28年度事業計画・収支予算(案)
- ・規約の改正

###### ② 報告

- ・第14回全国グリーン・ツーリズムネットワーク山形大会について

###### ③ 講演

「地方創生のカギを握る ～ インバウンドを呼び込む民泊の活用法 ～」  
とまれる株式会社 代表取締役 三口 聡之介 氏

##### (2) 役員会

###### ① 第1回役員会 ⇒ 平成28年4月26日(火)

- ・平成28年度の総会議案
- ・平成28年度総会の開催日程及び内容等
- ・グリーン・ツーリズム推進大会の開催等

###### ② 第2回役員会 ⇒ 平成28年9月12日(月)

- ・各種事業の進捗状況等
- ・受入態勢整備事業等助成金の審査
- ・グリーン・ツーリズム推進大会の開催等

###### ③ 第3回役員会 ⇒ 平成28年12月14日(水)

- ・各種事業の経過報告等
- ・グリーン・ツーリズム推進大会の開催結果概要等

###### ④ 第4回役員会 ⇒ 平成29年3月1日(水)

- ・平成28年度決算見込み及び実施状況等
- ・次年度総会の開催方法等
- ・平成29年度のグリーン・ツーリズム推進大会の開催方法等

##### (3) 拡大幹事会 ⇒ 平成28年7月11日(月)

- ・各種事業の進捗状況
- ・グリーン・ツーリズム推進大会の開催等

## 《 補助事業 》

### グリーン・ツーリズム推進事業

受入態勢整備、情報発信力強化、整備したグリーン・ツーリズムデータベースを活用した誘客促進等の事業を展開し、本県グリーン・ツーリズムを推進した。

やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会の開催により、本県における諸課題への対応とともに、県内グリーン・ツーリズム推進のネットワーク強化を図り、本県グリーン・ツーリズムのより一層の推進を図った。

#### 1 グリーン・ツーリズムに関する情報発信

##### (1) グリーン・ツーリズム NEWS の発行

- ・ 交流人口の拡大を図るため、グリーン・ツーリズム NEWS（紙媒体）を年5回（各号 9,500 部）発行し、県内のグリーン・ツーリズムに関する旬なイベントや会員の活動紹介などの情報を発信した。

発行月	紹介した会員		
7月号 (Vol.67)	農家民宿 佐藤三右衛門	農家直売 くだもの楽園	(スタンプラリー) (郷土料理)
9月号 (Vol.68)	まゆはきの丘直売所	北国のうまい漬物 ハシナカ食品	(山形的 GT 推進大会) (郷土料理)
10月号 (Vol.69)	蔵民宿 あおやぎ	民宿の越後屋 マコモダケ収穫体験	(山形的 GT 推進大会) (県内イベント情報)
11月号 (Vol.70)	果汁工房 果実の森スズキ	(命のツーリズムプロジェクト in 山形庄内)	
2月号 (Vol.71)	ととや 三代目	(6次産業化の 実践事例研修会)	(リスクマネジメント 研修会)

- ・ 会員紹介では、会員の活動状況や施設を現地で取材したり、会員自ら原稿の作成をしていただいたりして情報を収集するとともに、デザインは事務局の担当が行った上で、ネット印刷の採用により経費削減を図っている。
- ・ 配布先は、協議会の全会員、各行政機関、文化・観光・交流施設、山形大学外5大学等の県内施設に加えて、宮城県を中心に銀行、スーパー、GS、県境の道の駅、さらには、県の県外事務所の各情報センターや「おいしい山形プラザ」等の約400か所に設置を依頼し、本県情報の発信に努めた。

##### (2) HP「やまがた的グリーン・ツーリズム」の管理運営

ホームページ「やまがた的グリーン・ツーリズム」において、協議会の事業や会員の紹介、会員や地域のイベント等の情報発信を行った。

###### ① アクセス件数

###### ◎トップページアクセス数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
998	1,022	1,107	867	814	718	679	725	521	551	527	495	9,024

◎総ページアクセス数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14,388	21,162	23,749	18,064	16,312	17,204	17,102	14,667	11,536	13,106	11,230	11,135	189,655

- ・ ページ別では、「農～んびりやまがた発見ナビ」が一番多く、総ページアクセス数の半数を占め、年間を通して関心が高い。次いで、「郷土料理」が7万件近く、「新着情報」、「エリア別のモデルコース紹介」の順となっている。
- ・ 地域別のアクセス数は、県外からのアクセスが約4分の3を占め、特に首都圏からのアクセス数が半数弱を占める。また、海外からの年間アクセス数では、上位アメリカ合衆国（321件）、イギリス（232件）、台湾（72件）となっている。

② 新着情報

新着情報の発信件数は58件（前年度件数64件）で、情報源の内訳は会員（実践者）3件、事務局23件、県及び市町村28件、その他の各種団体等（東北農政局、NHK等を含む）4件で、特に、会員からの情報提供が減少している。

・ 新着情報（会員・県及び市町村）

No	掲載年月日	記事タイトル	情報源
1	2016/6/2	食育イベント～父の日は乳の日～	(有)蔵王マウンテンファーム
2	2016/11/25	(有)蔵王マウンテンファーム 公開講演会開催のご案内	(有)蔵王マウンテンファーム
3	2017/1/24	大好評!「山形かわにしで遊ぶ、学ぶ、大人のインターンシップ」募集のご案内	やまがた里の暮らし推進機構
4	2016/4/6	『やまがたハッピーライフカフェ Vol.1』開催!!	県 市町村課
5	2016/4/27	旅館業法施行規則の一部を改正する省令の施行について	県 観光立県推進課
6	2016/4/27	5月15日(日)『やまがたハッピーライフカフェ～やまがたの子育てVer.～』開催!!	県 市町村課
7	2016/5/18	6月4日(土)『やまがたハッピーライフカフェ～田舎の住まい～』開催!!	県 市町村課
8	2016/5/19	「やまがた農商工連携ファンド」助成事業説明会のお知らせ	公益財団法人やまがた農業支援センター
9	2016/5/26	「食と農の景勝地」募集のご案内	県 観光立県推進課
10	2016/6/21	ディスカバー農山漁村の宝 第3回募集!	県 観光立県推進課
11	2016/7/12	新・農業人フェアで山形暮らしの相談会を開催!	県 市町村課
12	2016/7/13	8月7日(日)開催 山形暮らしセミナー「やまがたハッピーライフカフェ」	県 市町村課
13	2016/8/8	9月4日(日)開催 山形暮らしセミナー「やまがたハッピーライフカフェ」	県 市町村課
14	2016/9/20	10月15日(土)開催 山形暮らしセミナー「やまがたハッピーライフカフェ」	県 市町村課
15	2016/9/21	『ふるさと回帰フェア2016』	県 市町村課
16	2016/10/4	平成28年度やまがた農商工連携ファンド事業 第2次募集について	公益財団法人やまがた農業支援センター
17	2016/10/5	やまがた6次産業ビジネス・スクール2016募集!!	県 6次産業推進課
18	2016/10/14	やまがた食育県民大会の開催について	県 6次産業推進課
19	2016/10/16	11月12日(土)開催 山形暮らしセミナー「やまがたハッピーライフカフェ」<山形流"なりわい"づくり。>	県 市町村課

20	2016/10/25	山形暮らし体験ツアー！！のお知らせ	県 市町村課
21	2016/11/17	12月10日(土)開催 山形暮らしセミナー「やまがたハッピーライフカフェ」	県 市町村課
22	2016/12/13	平成29年1月21日(土)開催 山形暮らしセミナー「やまがたハッピーライフカフェ」	県 市町村課
23	2016/12/14	「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」にブース出展	県 市町村課
24	2017/1/4	山形暮らし体験ツアー(置賜地域、庄内地域)募集のご案内	県 市町村課
25	2017/1/16	平成29年2月12日(日)開催 山形暮らしセミナー「やまがたハッピーライフカフェ」	県 市町村課
26	2017/1/16	<東北で創業・事業継承・就農+移住・定住～東北6県移住応援イベント in 東京～>	県 市町村課
27	2017/2/2	<ローカルライフを楽しもう！移住交流フェア>	県 市町村課
28	2017/2/8	平成29年度農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)等の公募について(農泊推進対策を除く)	県 観光立県推進課
29	2017/2/9	「東北地域における農泊推進シンポジウム」開催のご案内	県 観光立県推進課
30	2017/2/14	平成29年3月5日(日)開催 山形暮らしセミナー「やまがたハッピーライフカフェ」	県 市町村課
31	2017/2/20	平成29年度農山漁村振興交付金(農泊推進対策)の公募について	県 観光立県推進課

### ③ 会員バナー募集

会員サイトにリンクするバナーを、HPのトップページ下段に掲載しているが、掲載を希望する会員の募集を行ったうえで、会員の利用に供している。

(掲載期間各3か月・募集枠各10件)

期 別	期 間	掲載数
第1期	平成29年 1月～3月	5件
第2期	平成29年 4月～6月	10件
第3期	平成29年 7月～9月	10件
第4期	平成29年 10月～12月	6件
計		31件

### ④ SNS の活用

会員の活動の紹介や各地のイベントの状況、やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会の告知や参加者募集、四季の表情など本県の豊かな自然、イベントの告知等々の旬な情報を中心に投稿し、フォロワーやいいね！の数が、前年度よりも増加した。

◎ツイッター フォロワー：2,269名(前年度より121名の増)

◎フェイスブック いいね！：379件(前年度より72件の増)

## 2 スタンプラリーの実施

県内グリーン・ツーリズムの普及と体験への参加を誘導するため、県の観光キャンペーンやイベント等と連携しながら、県内全域で実施した。

「食べる・泊まる・買う・体験する」のグリーン・ツーリズムを体験されたお客様は、トコちゃんスタンプがもらえ、3個集まったら応募台紙を本協議会に郵送で応募することにより、抽選で山形の特産品をプレゼントした。

### <事業の概要>

- ・実施期間：平成28年6月15日（水）～10月15日（土）の123日間
- ・協賛施設：69施設
- ・プレゼント：「つや姫」10kg、えごま油セット、旬の果物（ラ・フランス、りんご）、芋煮セット、山形県産ワインを合計50名様にプレゼント（Wチャンス）「やまがた 郷土料理探訪」30名様
- ・応募件数：1,022件（県内507件／県外515件）
- ・広告掲載：GOZZO 山形（6月号）
- ・広報活動：① 山形県グリーン・ツーリズム推進協議会HPの活用  
新着情報・ツイッター・フェイスブックで情報を発信し、スタンプラリーのページ行きの誘導を行った。  
② ポスター、ミニのぼり及び台紙の配布  
・協賛施設や道の駅等へ掲示及び配布  
・「さくらんぼ祭り」等のイベント時に台紙を配布

### <事業の検証>

- ① 応募件数1,022件は、昨年度の1,016件を僅かながら上回って千件の大台を維持し、県内外からの応募数はほぼ同数だった。
- ② 「農業体験や農家民宿を利用したことがありますか」との問いに「はい」と答えたのは4分の1に止まり、依然として、グリーン・ツーリズム自体の周知・普及拡大に取り組む必要があると実感した。
- ③ 「スタンプ3つなので、簡単に集められました。こういう楽しみがあるとまた出掛けたくなります」、「お客さんが多い施設は、活気があって楽しい。従業員のおもてなしは丁寧でした」、「スタンプラリーがきっかけになって、様々な農産物を楽しく購入出来ました」、「車椅子で不自由な私に、トイレ休憩も食事も何不自由することなく親切に対応していただきました」、「忙しい中スタンプをお願いしても笑顔で対応してくれた」等々、参加した方々から喜びの感想が寄せられた。これらのことから、スタンプラリーを継続して実施することが、グリーン・ツーリズムの普及に効果があると考えられる。
- ④ 意見として、「イベントのアピールが足りない」、「クーポン券を付けて利用価値を上げた方がいい」等の声があった。

### 3 6次産業化の実践事例研修会の開催

当協議会の会員を始めとするGT実践者の多くが6次産業化に取り組んでいるが、実態は、様々な課題を抱えながらの経営であり、「実際の製品を見て・食べて、実践者の生の声を聴きたい」との要望に応えるため、「やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会 part II」として「6次産業化の実践事例研修会（11月9日（水）13:00～）」を開催した。

- ・オープニング・トーク「6次産業化のススメと実践事例」  
山大農学部教授 角田 毅 氏
- ・実践者トーク  
井上農場（鶴岡市）、おによめ.com（東根市）、漆山果樹園（南陽市）  
お米、野菜、果実の6次産業化に取り組んでいる県内農家の事例発表
- ・試食・交流会  
事例発表を行った3者の製造・販売する製品の試食、質疑応答等による参加者との交流



## 《 委 託 事 業 》

### 子ども農山漁村交流プロジェクト推進事業

子ども農山漁村交流プロジェクトを推進し、小学校等が行う農山漁村での長期宿泊体験活動の県内受入を促進するため、民泊活用に関する研修会やリスクマネジメント研修会を開催するとともに、関係団体と連携し、宮城県を中心とする教育旅行の誘致活動や農観連携に関するセミナーへの参加等、受入地域協議会と連携しながら、山形の大きな魅力である「豊かな自然」と多様な体験プログラムに関する情報発信や受入態勢の強化を図った。

#### 1 民泊活用法研修会の開催

空き家や空室などの民泊活用が世界的に普及しつつあり、国内でも、東京オリンピックを控えて様々な動きがあることから、国内でインターネットを活用した民宿・民泊の予約システム「とまれる・とまりーな」を立ち上げて運営している講師による研修会を開催した。

- ・ 期 日：平成 28 年 6 月 1 日（水） 14 時 30 分～16 時
- ・ 会 場：県土地改良会館 4 階 大会議室
- ・ 講 演：「地方創生のカギを握る～インバウンドを呼び込む民泊の活用法」  
講師 とまれる株式会社 代表取締役 三 口 聡之介 氏
- ・ 参 加 者：約 50 名

#### 2 リスクマネジメント研修会 vol.2 の開催

教育旅行を本格的に誘致しようとする本県にとって、「受入先におけるリスク管理」は必須条件であり、喫緊の課題として取り組む必要があることから、「やまがた的グリーン・ツーリズム推進大会 partⅢ」として昨年度に引き続いて開催した。

なお、昨年度は午後からの研修で、時間が足りず「じっくりと話が聞きたい」との声が多かったことから、午前中からの研修会とした。

- ・ 期 日：平成 28 年 11 月 29 日 10 時 30 分～16 時
- ・ 会 場：県土地改良会館 4 階 研修室
- ・ 講 師：新潟経営大学観光経営学部  
企画運営委員 出口 高 靖 氏  
早川総合法律事務所 弁護士 早 川 修 氏
- ・ 参 加 者：21 名

#### 3 受入態勢の整備

山形県教育旅行誘致協議会や東北ブロック農山漁村交流プロジェクト推進協議会等が受入団体の担当者等を対象に開催している研修会等に参加するとともに、教育旅行の誘致活動や情報発信の強化に努めた。

(1) 教育旅行の誘致活動及び情報発信

仙台圏の小中学校の教育旅行を誘致するため、各受入地域協議会のメンバーとともに、山形県教育旅行誘致協議会が実施する誘致活動に参加するとともに、東日本各地の道の駅等に体験プログラム等のパンフレットを配置した。

<教育旅行の誘致活動>

- ・期 日：平成 28 年 6 月 22 日(水) (3 日間中の 1 日のみ参加)
- ・訪 問 校：仙台市内の小中学校 6 校

(2) 農観連携セミナー2016 への参加

- ・期 日：平成 28 年 12 月 16 日 (金) 13 時～16 時
- ・会 場：仙台合同庁舎 A 棟 8 階 講堂
- ・内 容：農観連携が果たすべき役割や活性化の視点に関するセミナー  
東北各地の先進事例発表